

よこすか ECO通信

No.45
(令和4年6月)



《発行》
横須賀市、
環境教育・環境学習推進懇話会

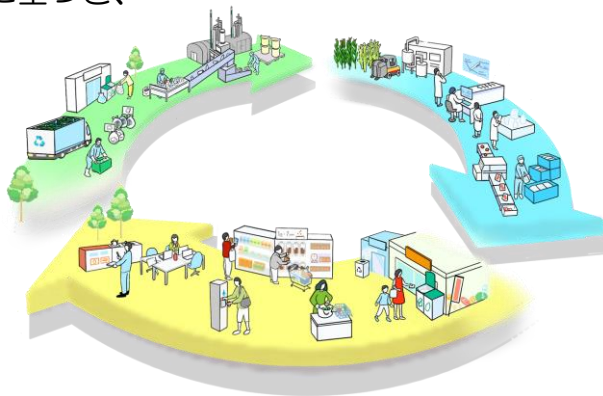
プラスチック、どう使う？

近年、プラスチックの使い方を見直す動きが高まっています。

横須賀市では、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に基づき、

- ①リデュース（へらす）
- ②リユース（くりかえし使う）
- ③リサイクル（作りかえる）の3Rに
- ④リフューズ（断る）をプラスした
「3R+1」の啓発に取り組んでいます。

また、2022年4月から施行された「プラスチック資源循環促進法」は、プラスチックのライフサイクルに関わるすべての事業者・自治体・消費者が、3Rや、
⑤リニューアブル（再生可能な資源におきかえる）
に取り組むための法律です。



プラスチックは えらんで減らしてリサイクル

プラスチックはとても便利ですが、一方で、作る時や燃やす時に多くの二酸化炭素を排出し、気候変動や海洋プラスチックごみの問題にもつながっています。

「プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル」をキーワードに、一人ひとりがプラスチックとの付き合い方を考え、できることからチャレンジしていきましょう。

えらんで



エコなプラスチック製品をえらぼう

減らして



使い捨てプラスチックのごみをへらそう

リサイクル



プラスチック製品は分別して
リサイクルに協力しよう



夏の環境学習イベントのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館《夏休み企画》

一部を
ご紹介！

◆こどもクイズラリー

クイズに答えながら
楽しく博物館めぐり！

日時	7月16日(土)～8月28日(日) 9:00～17:00
場所	本館
対象	小・中学生
申込	不要(参加自由)



◆博物館たんけん

ふだんは見るできない資料室や
貴重な資料を学芸員がご案内します！

日時	7月28日(木) 9:00～17:00
場所	本館
対象	小・中学生(定員20人) 小学校3年生以下は保護者同伴
申込	事前申込制。締切: 7月14日(木)

◆潮だまりの生き物

潮が引いた磯にあらわれる「潮だまり」は天然の水族館ともいわれます。
天神島臨海自然教育園の「潮だまり」にくらす生き物を観察します。

日時	7月29日(金) 9:30～12:00	対象	小・中学生(定員20人) 小学生は保護者同伴
場所	天神島臨海自然教育園	参加費	1人50円
申込	事前申込制。締切: 7月14日(木)		

申込方法

往復はがきに以下の事項を記入して申込先へ

- ・往信面に①行事名と、参加者全員の②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号
- ・宛名面に代表者の①住所 ②氏名

インターネットからも申込できます ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>



申込先・問い合わせ先

横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 横須賀市深田台95番地
電話: 046-824-3688 E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp
休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)

◆その他のイベント

自然観察会と ザリガニ釣り (駆除)



※雨天中止

日時	場所	対象	定員	費用
9/10(土) 9:30～11:30	光の丘水辺公園	小学生と保護者	先着15組	保険代1人100円

申込先・問い合わせ先

必要事項を往復はがき、FAX、メールで光の丘水辺公園へ(〒239-0847 横須賀市光の丘4-1
電話・FAX: 046-849-7650 E-mail: mizube@ryokukazouen.jp)

夏休み子ども 環境体験教室 ソーラーランタン を作ろう！



日時	場所	対象	定員	費用
8/1(月) 13:00～16:00	ヴェルクよこすか 第3研修室	小学校3年生～ 6年生	24人	1人300円

申込先・問い合わせ先

横須賀市コールセンター(046-822-2500)またはネット申込(<https://www.yokosuka-yksk.jp/>)から申込。 申込期間: 7/1(金)～7/15(金)
お問い合わせは横須賀市地球温暖化対策地域協議会(横須賀市環境部ゼロカーボン推進課内)へ。
電話: 046-822-8524

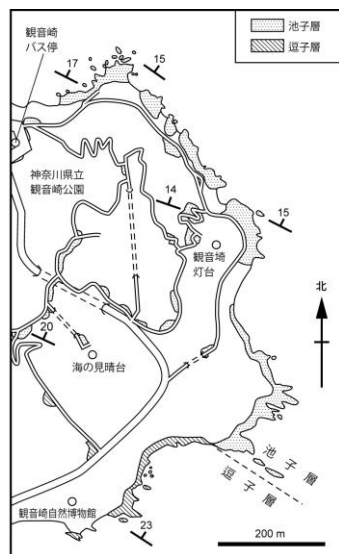


横須賀市観音崎では、地層のきれいなしま模様を観察でき、地層の学習に適しています。ここでは観音崎の地層についてご紹介します。

観音崎の岩場をつくる地層は三浦層群の逗子層と池子層です(図1)。地層は北東に15°～25°傾き、北東側ほど上側の地層を観察できます。

逗子層はおよそ600万年前から400万年前に、水深2,000～3,000 mの深海でつくられたと考えられています。おもに泥岩からできていて、火山の噴出物が降り積もって固まってできた凝灰岩を挟んでいます。観音崎自然博物館周辺の岩場でよく観察できます(図2)。

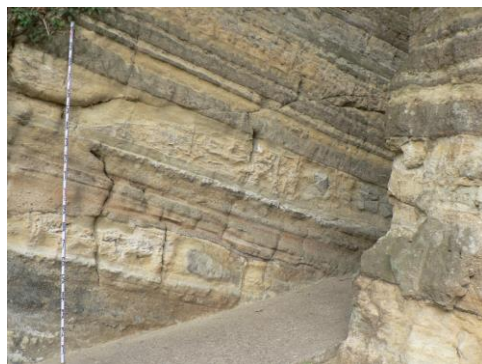
池子層は逗子層をおおう地層で、逗子層よりも凝灰岩を多く含みます。およそ400万年前から250万年前につくられました。観音崎の池子層に含まれる凝灰岩は、ほとんどが混濁流(海底で発生する土砂の雪崩のような現象)から堆積したタービダイトです。観音崎灯台近くの切通しでは見事な池子層のしま模様が観察できます(図3)。



〔図1〕観音崎の地図



〔図2〕逗子層



〔図3〕池子層

また、観音崎の池子層からはシロウリガイのなかまでであるアケビガイの化石が1つ見つかっています(図4)。化石は生活していた場所から混濁流によって流されてきて、地層の中に保存されたようです。現生のアケビガイは水深180 m～710 m にすんでいますので、池子層ができた環境も、水深180 m～710 mか、それよりもやや深い環境だったと考えられます。

このように三浦半島の大地は深い海の底でつくられ、土地の隆起によって陸地になりました。地層の観察から、壮大な大地の変化を感じてみてはいかがでしょうか。



〔図4〕アケビガイ

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します

横須賀市 ゼロカーボンシティ宣言



みなさまからのE C Oな情報も募集しています。



《発行》横須賀市／環境教育・環境学習推進懇話会 《協力》横須賀市自然・人文博物館

《発行元》〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境部ゼロカーボン推進課

TEL: 046-822-8327 FAX: 046-824-5630

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆カラー版は横須賀市ホームページから「ECO通信」で検索！ →

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/kgakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

☆「環境教育・環境学習推進懇話会」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

